

令和6年度

《学校教育目標》



涼風滑石

夢を抱き、未来をしなやかに生きる力を持った滑石っ子の育成
～いい音が響き合い、笑顔あふれる滑石小～

～滑石小学校だより～

No. 10

令和 7 年 1 月 31 日 文責 藤本

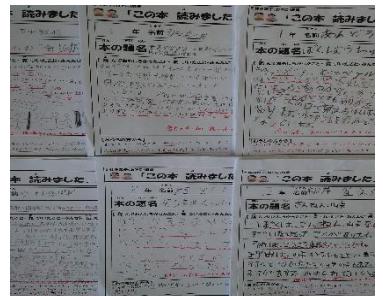
●終わりよければすべてよし…～冬休み明け集会～

1月7日（火）、冬休み明けの全校集会を行いました。1年のスタートでもありますため、2つの干支にまつわる話をしました。巳年ということで「新たな自分に向けての挑戦と前向きに進むこと」、昨年の辰年に絡めて「画竜点睛」の話をしました。低学年の子どもたちには少し難しいかったかと思いますが、残りの3か月を学年の仕上げの期間にしていこう語り掛け、「終わりよければすべて良し」のことわざで話を閉じました。春休みまで、実質登校日は50日。まとめをしっかりと行い、次の学年に向けて少しずつ準備をして欲しいと思います。



●ありがとうございました。～親子読書～

冬休み前に呼びかけていた親子読書に積極的に取り組んでいただきありがとうございました。推奨課題にもかかわらず、延べ75件のご家庭で取り組んでいただきました。一人で7冊分の読書シートを提出してくれた子どももいました。時間がない中で、お家の方からのコメント欄にも温かい励ましの言葉を添えていただき、子どもたちの読書に対する意欲も高まったかと思います。



●無病息災を祈しながら～どんどや～

1月12日（日）、午前9時から正月恒例の「どんどや」をしていただきました。天候の悪化が心配されたため、前日にやぐらを組み立てていただき、当日は予定を2時間繰り上げての開催となりました。休日にもかかわらず100人を超える児童・保育者・職員・地域の方の参加がありました。最初にやぐらに藁をまいた竹竿を低学年の児童が据え、その後上級生が複数個所に分かれて点火しました。炎が一気に駆け上ると子どもたちからの歓声が起きました。竹が燃えるには時間がかかりましたが、炭火になると楽しそうに「もちやマシュマロ」を焼いて食べていた子どもたちでした。無病息災を祈る1年に1度の伝統行事ですが、子どもたちの幼い日の思い出の1ページとして記憶に残るかと思います。PTAの皆様には、前日の準備から当日の後片付けまで献身的にご尽力いただき、ありがとうございました。



●より良い学校、地域をめざして～すずかぜ子ども会議～

1月24日（金）の第6校時に、4年生以上の児童が参加し、「すずかぜ子ども会議」を開催しました。児童会活動の活性化と地域とのつながりを深めることをねらい、初めて開いた会議です。学校運営協議会やまちづくり委員会から6名をお招きし、前半の委員会活動の発表、後半の「滑石小学校区をよりよい地域にするために」というテーマの意見交換に参加していただきました。子どもたちからは、地域や学校をよくするための意見がたくさん出て、とても充実した会議となりました。参加していただいた方々から、このような機会をもっと増やしてほしいとの意見をたくさんいただきました。



※2月のすずかぜボランティアは2月16日（日）、午前7時30分からです。ご参加、お待ちしております。



